

09/025.133

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

JPA 3-241417

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 03241417 A

(43) Date of publication of application: 28 . 10 . 81

(51) Int. Cl

G06F 3/06

G06F 13/38

(21) Application number: 02039215

(71) Applicant: SANYO ELECTRIC CO LTD

(22) Date of filing: 19 . 02 . 90

(72) Inventor: FURUYA YUJI
OCHIWA MASASHI

(54) DATA TRANSFER EQUIPMENT

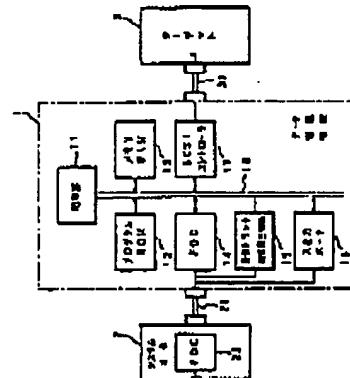
the main body of the system.

(57) Abstract:

COPYRIGHT: (C)1991,JPO&Japio

PURPOSE: To connect a hardware equipped with a different data transfer system without changing a hardware in the main body of a system by reading data transferred by a first data transfer system corresponding to dummy information and transferring the data by a second data transfer system.

CONSTITUTION: An interface means 21 is provided to input/output the data in the first transfer system, and a monitoring means 16 is provided to monitor the state of the input/output. Then, a storing means 12 is provided to store information required for driving the interface means 21 by the first transfer system, and a means 15 is provided to read the information from the storing means 12 according to the monitored result and to apply the information to the interface means 21. Further, a means 11 is provided to output the inputted data by converting the data in the first transfer system to the data in the second transfer system and converting the data in the second transfer system to the data in the first transfer system. Thus, for an equipment equipped with no SCSI (Small Computer System Interface), the data can be transferred to the equipment equipped with the SCSI without changing the hardware in



⑥日本国特許庁(JP)

⑦特許出願公開

⑧公開特許公報(A) 平3-241417

⑨Int.Cl.³G 06 F 3/06
13/38

識別記号

3 0 1 Z
3 2 0 Z

厅内整理番号

7232-5B
7052-5B

⑩公開 平成3年(1991)10月28日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全8頁)

⑪発明の名称 データ転送装置

⑫特 願 平2-39215

⑬出 願 平2(1990)2月19日

⑭発明者 古谷 雄司 大阪府守口市京阪本通2丁目18番地 三洋電機株式会社内
 ⑮発明者 落岩 正士 大阪府守口市京阪本通2丁目18番地 三洋電機株式会社内
 ⑯出願人 三洋電機株式会社 大阪府守口市京阪本通2丁目18番地
 ⑰代理人 弁理士 河野 登夫

NOT AVAILABLE COPY

明細書

1. 発明の名称 データ転送装置

2. 特許請求の範囲

1. 第1の転送方式により転送されるデータを第2の転送方式のデータに変換し、また第2の転送方式により転送されるデータを第1の転送方式のデータに変換して転送するデータ転送装置において、

前記第1の転送方式のデータが入出力されるインタフェイス手段と、

該インタフェイス手段での入出力の状態を監視する監視手段と、

前記インタフェイス手段を第1の転送方式により駆動するために必要な情報を記憶した記憶手段と、

前記監視手段の監視結果に従って前記記憶手段から前記情報を取出して前記インタフェイス手段へ与える手段と、

前記インタフェイス手段から入力された第1の転送方式のデータを第2の転送方式のデ

ータに変換して出力し、第2の転送方式のデータを前記インタフェイス手段におえて第1の転送方式のデータに変換して出力させる手段と、

3. 発明の詳細な説明

【実質上の利用分野】

本発明は、異なるデータ転送方式を探る二つの機器間でのデータ転送を可能にするデータ転送装置に関する。

【従来の技術】

マイクロプロセッサを応用したたとえばマイクロコンピュータシステム、ワードプロセッサ等の電子機器においては、従来それぞれの機器外ヘデータ転送を行う場合には専用のインタフェイスを装備してデータ転送を制御している。

【発明が解決しようとする課題】

しかし、ワードプロセッサ等のような専用機の場合には、インタフェイスを複数することはハードウェア上の制限が多く、ハードウェア、機器の

特開平3-241417(2)

変更を伴うのでユーティリティでは通常は困難である。

本発明はこのような事情の下で、たとえばフロッピーディスクドライブ駆動用のインターフェイスは有していてその外部コネクタ又はそれに準ずる接続部は有るが、ハードディスクドライブ、ストリーミングテープ装置等のためのSCSI (Small Computer System Interface) は有していない機器を、機器本体のハードウェアの変更無しでSCSIを有する機器との間でのデータ転送を可能にするデータ転送装置の提供を目的とする。

【問題を解決するための手段】

本発明は、第1の転送方式により転送されるデータを第2の転送方式のデータに変換し、また第2の転送方式により転送されるデータを第1の転送方式のデータに変換して転送するデータ転送装置において、前記第1の転送方式のデータが入出力されるインターフェイス手段と、該インターフェイス手段での入出力の状態を監視する監視手段と、前記インターフェイス手段を第1の転送方式により

駆動するために必要な情報を記憶した記憶手段と、前記監視手段の監視結果に従って前記記憶手段から前記情報を読み出して前記インターフェイス手段へ与える手段と、前記インターフェイス手段から入力された第1の転送方式のデータを第2の転送方式のデータに変換して出力し、第2の転送方式のデータを前記インターフェイス手段に与えて第1の転送方式のデータに変換して出力させる手段とを備えたことを特徴とする。

【作用】

本発明のデータ転送装置は、第1のデータ転送方式により転送されるデータが、監視情報発生手段により発生される監視情報を応じて読み込まれ、第2のデータ転送方式で転送され、逆に第2のデータ転送方式により転送されるデータが、監視情報発生手段により発生される監視情報を応じて出力される。

【実施例】

以下、本発明をその実施例を示す図面に基づいて詳述する。

第1図は本発明に係るデータ転送装置の構成及び他の機器との接続状態を示すブロック図である。

第1図において参照符号1が本発明のデータ転送装置であり、この実施例ではFDD (Floppy Disk) ドライバ用のインターフェイスは設置しているが、ハードディスクドライバ用あるいはストリーミングテープ装置用のSCSI (Small Computer System Interface) は設置していないシステム本体2とSCSI対応のターゲット3を接続している。

なお、システム本体2としてはたとえばワードプロセッサ等が、ターゲット3としてはハードディスクドライバ、ストリーミングテープ装置等が使用される。

第1図のようなシステム本体2とターゲット3とは、共通のインターフェイスを有していないため壁掛け直接接続してデータ転送することは不可能である。このため、システム本体2とターゲット3との間に本発明のデータ転送装置1を介導することにより、システム本体2とターゲット3との相互間のデータ転送を可能にする。

以下、データ転送装置1の構成について説明する。

第1図において、参照符号11は例えばマイクロコンピュータを使用した制御部である。制御部11にはデータバス18を介してプログラムROM12、メモリRAM13、FDC(Floppy Disk Controller)14、監視トラック情報発生回路15、入出力ポート16、 SCSIコントローラ17が接続されている。制御部11は制御プログラムに従って上述の各機能部を制御する。

プログラムROM(リードオンリーメモリ)12は制御部11の初期プログラムが格納されている他、後述する監視トラックデータが格納されている。

メモリRAM(ランダムアクセスメモリ)13は転送データの一時的記憶に使用される。

FDC14は通常はFDD(Floppy Disk Driver)を制御するために使用されるが、ここではインターフェイス手段として動作し、FDDインターフェイス11を介してシステム本体2内部のFDC22と接続されている。

BEST AVAILABLE COPY

特開平3-241417(3)

擬似トラック情報発生回路15は以下のような働きをする。通常、トラック情報はフロッピーディスク（メディア）を読むことにより得られる信号であり、フロッピーディスクヘデータを書込む際はこのフロッピーディスクから得られたトラック情報を経てPDC14が駆動されてフロッピーディスクにデータが書込まれる。しかし、本発明のデータ転送装置1では、擬似トラック情報発生回路15によりPDC14を駆動させるために必要なクロック及びID（Identifier）フィールド等のトラック情報をプログラムROM12から読み出してシリアルに変換して送出している。

この擬似トラック情報は、PDC14への入力は今 の状態を監視している入出力ポート16の監視結果に従って、擬似トラック情報発生回路15が発生し、出力する。

本発明のデータ転送装置1では、上述のように擬似トラック情報を発生することにより、PDC14の駆動が可能になる。

入出力ポート16はFDインクフェイス21の情報を

取込んだり、設定出力する。本実施例ではライトプロテクト（"Writeprotect"）信号、ステップ（"Step"）信号等を制御している。

SCSIコントローラ17は、システム本体2が本来駆動すべきターゲット3と同一方式のインクフェイスコントローラ（この場合はSCSI）である。このSCSIコントローラ17がSCSIバス81を介してターゲット3と接続されている。

従って、本発明のデータ転送装置1は、システム本体2のデータ転送方式をターゲット3のデータ転送方式に変換し、また逆にターゲット3のデータ転送方式をシステム本体2のデータ転送方式に変換する。

第2図は、ターゲット3からデータ転送装置1を経由してターゲット3へ、また逆にターゲット3からデータ転送装置1を経由してシステム本体2へデータを転送する際の手順を示すタイミングチャートである。この第2図を参照してまずデータ転送の概略について説明する。

システム本体2からターゲット3へデータを転

送する場合は、まずシステム本体2からデータ転送コマンド（ライトコマンド）が outputされ、これがデータ転送装置1を経てターゲット3へ伝えられると共に、データがシステム本体2からデータ転送装置1を経てターゲット3へ転送される。全てのデータを受取ると、ターゲット3はステータス信号をデータ転送装置1を経てシステム本体2へ送る。このステータス信号を受取ることにより、システム本体2はデータの転送が完了したことを知る。

逆にターゲット3からシステム本体2へデータを転送する場合は、まずシステム本体2からデータ転送コマンド（リードコマンド）が outputされ、これがデータ転送装置1を経てターゲット3へ伝えられる。そして、データ転送コマンドをターゲット3が受取ることにより、データがターゲット3からデータ転送装置1を経てシステム本体2へ転送されると共に、ターゲット3からはステータス信号がデータ転送装置1を経てシステム本体2へ送られる。このステータス信号を受取ることに

より、システム本体2はデータの転送が完了したことを探る。

第3図①、②は、システム本体2から上述の如き構成の本発明のデータ転送装置1へのデータ転送手順をデータ転送装置1側の手順①とシステム本体2側の手順②とに区別して示したフローチャートである。また第4図は、同じくシステム本体2からデータ転送装置1へデータ転送する手順において、データ転送装置1の擬似トラック情報発生回路15、即PDC14及びシステム本体2のPDC22がそれぞれどのように動作するかを示したチャートである。

まず、データ転送装置1内では擬似トラック情報発生回路15が動作するようセットアップされ（ステップS11）。なお、この擬似トラック情報発生回路15のセットアップにより発生される擬似トラック情報としては、IDフィールドには正常なデータが、データフィールドにはCRC(Cyclic Redundancy Check)エラーが起きたデータがそれぞれ送出される。これによりデータを書込む例、即ちシ

BEST AVAILABLE COPY

特開平3-241417(4)

システム本体2側は、IDフィールドを読んでデータフィールドに出力データを書き込める状態になる。逆に、データを読み込む側、即ちデータ転送装置1側はIDフィールドを読み、これに従ってデータフィールドを読み込むか、通信相手（この場合はシステム本体2）がデータの出力をやっていなければCRCエラーが発生する。

次に、データ転送装置1ではPDC14にリードコマンドを発行し（ステップS12）、データが正常にリードできるまで適度なコマンド発行を反復する（ステップS13、S11、S12）。この際、システム本体2側ではライトコマンドをPDC22へ発行し（ステップS21）、これをライトプロテクト信号がオンになるまで反復する（ステップS22、S21）。データ転送装置1側でデータが正常に読み込まれた場合、データ転送装置1はライトプロテクト信号をオフにする（ステップS14）。これにより、システム本体2側ではデータ転送が終了したことを知る。

データ転送装置1へ転送されたデータは一旦メモリE8813に記憶された後、SCSIコントローラ17

の制御によりSCSIバス81を介してターゲット3へ転送される。

第5図①、例は、データ転送装置1からシステム本体2へのデータ転送手順をデータ転送装置1側の手順とシステム本体2側の手順とに区別して示したフローチャートである。また第6図は、同様にデータ転送装置1からシステム本体2へデータ転送する手順において、データ転送装置1の監視トラック情報発生回路15、阿PDC14及びシステム本体2のPDC22がそれぞれどのように動作するかを示したチャートである。

まず、データ転送装置1側では監視トラック発生回路15がセットアップされ（ステップS31）、前述のシステム本体2からデータ転送装置1へのデータ転送の場合と同様に、IDフィールドには正常なデータが、データフィールドにはCRC（Cyclic Redundancy Check）エラーが起こるデータがそれを送出される。その後、データ転送装置1はPDC14に対してライトコマンドを発行する（ステップS32）。

この際、システム本体2では、PDC22にリードコマンドを発行し（ステップS41）、エラーが発生しなくなるまで反復する（ステップS42、S41）。正常にリードコマンドが終了した場合、システム本体2はステップ信号を発行する（ステップS43）。このステップ信号を受取ることにより、データ転送装置1はライトコマンドの発行を停止する（ステップS44）。

以上の動作を組合せることにより、データ転送装置1とシステム本体2相互間でデータの送受信が行われるので、第2図に示した如く、システム本体2からデータ転送装置1を経由してターゲット3へデータ転送が行われ、また逆にターゲット3からデータ転送装置1を経由してシステム本体2へデータ転送が行われる。

なお、本実施例でデータ送受信に用いた信号類は他の信号に置換えて代用することも可能である。また、手順についても既明の便宜上、実際の手順を簡略化して説明してある。

〔結果〕

以上に詳述した如く、本発明のデータ転送装置によれば、システム本体のソフトウェア及び外部ハードウェアの追加により、システム本体のハードウェアの変更無しに本来は達成不可能な異なるデータ転送方式を有するハードウェアを接続することが可能になる。

7. 図面の簡単な説明

第1図は本発明のデータ転送装置の構成及びそのシステム本体及びターゲットとの接続状態を示すブロック図、第2図は全体のデータ転送の手順を示すタイミングチャート、第3図はシステム本体からデータ転送装置へデータ転送する際の手順を示すフローチャート、第4図は同じくその際の監視トラック情報発生回路、データ転送装置の構成。

C. システム本体のPDCがどのように動作するかを示すチャート、第5図はデータ転送装置からシステム本体へデータ転送する際の手順を示すフローチャート、第6図は同じくその際の監視トラック情報発生回路、データ転送装置のPDC、システム本体2のPDCがどのように動作するかを示すチ

BEST AVAILABLE COPY

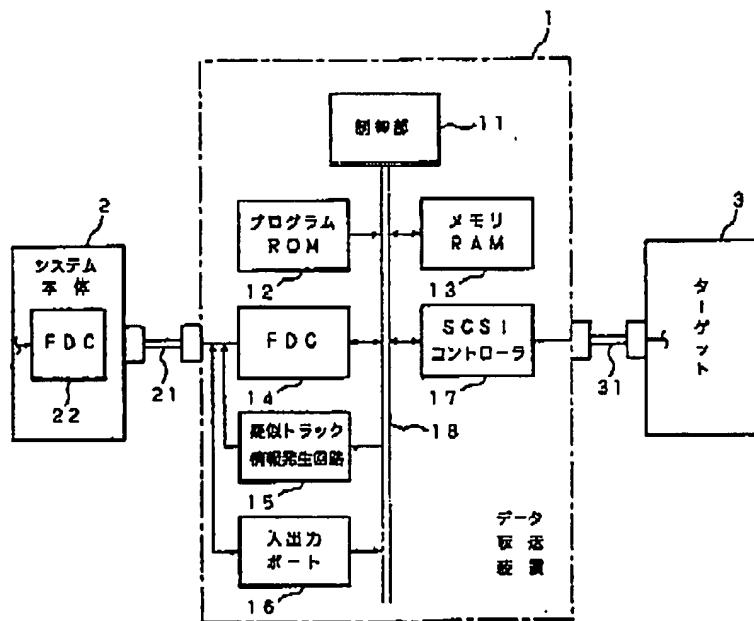
特開平3-241417(5)

ポートである。

1—データ伝送装置 2—システム本体
 3—ターゲット 11—制御部 12—プログラ
 ムROM 13—メモリRAM 14—FDC(フロッピーデ
 ィスクコントローラ) 15—擬似トラック情報発
 生回路 16—入出力ポート

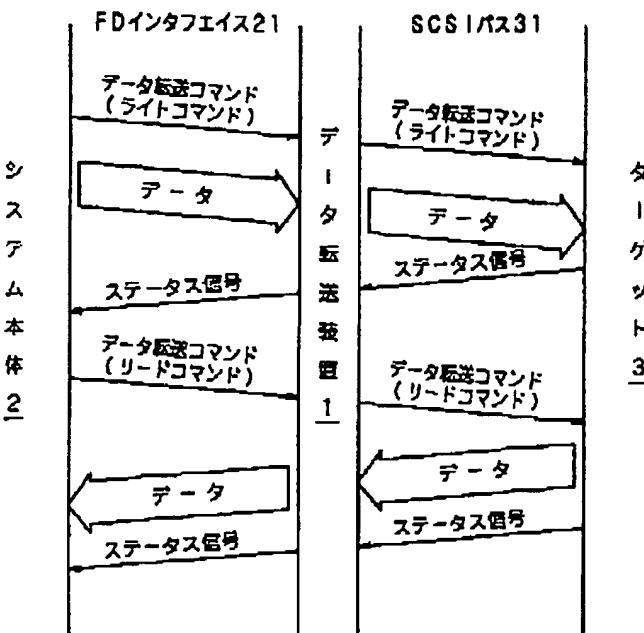
特許出願人 三洋電機株式会社
 代理人弁理士 桥野登夫

BEST AVAILABLE COPY

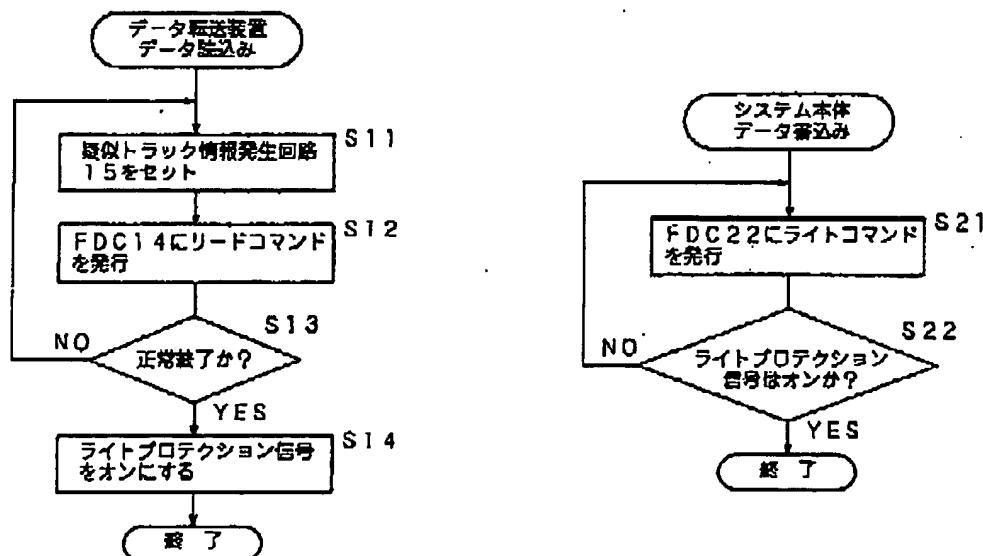


第 1 図

特許平3-241417(6)



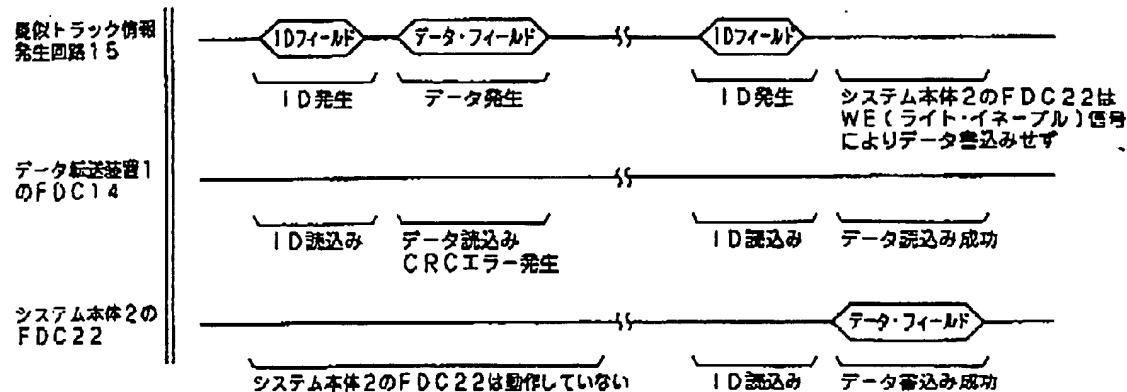
第 2 図



第 3 図(a)

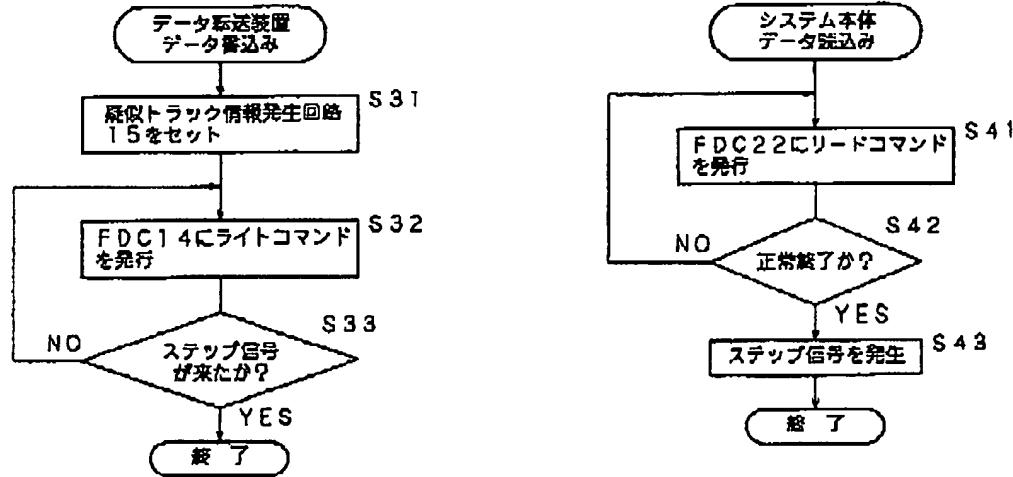
第 3 図(b)

特開平3-241417(7)



第 4 図

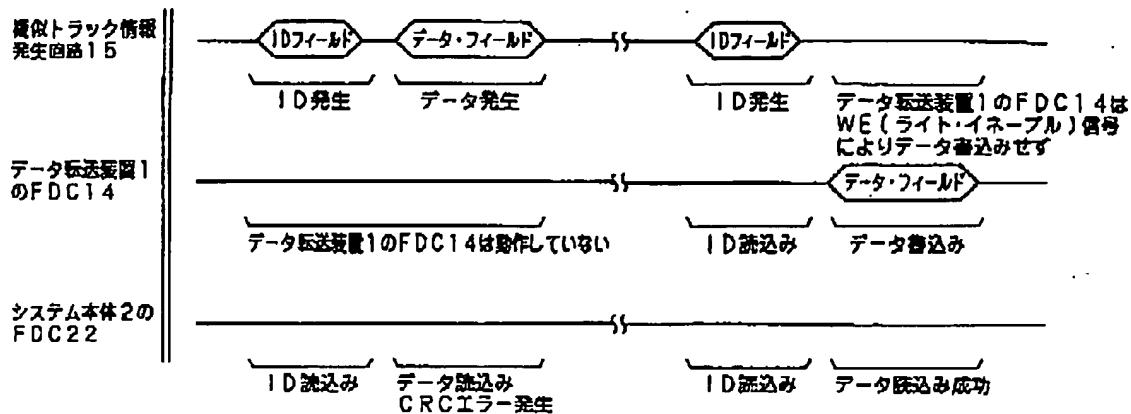
SIC! AVAILABLE COPY



第 5 図(a)

第 5 図(b)

特開平3-241417(8)



第 6 図

BEST AVAILABLE COPY